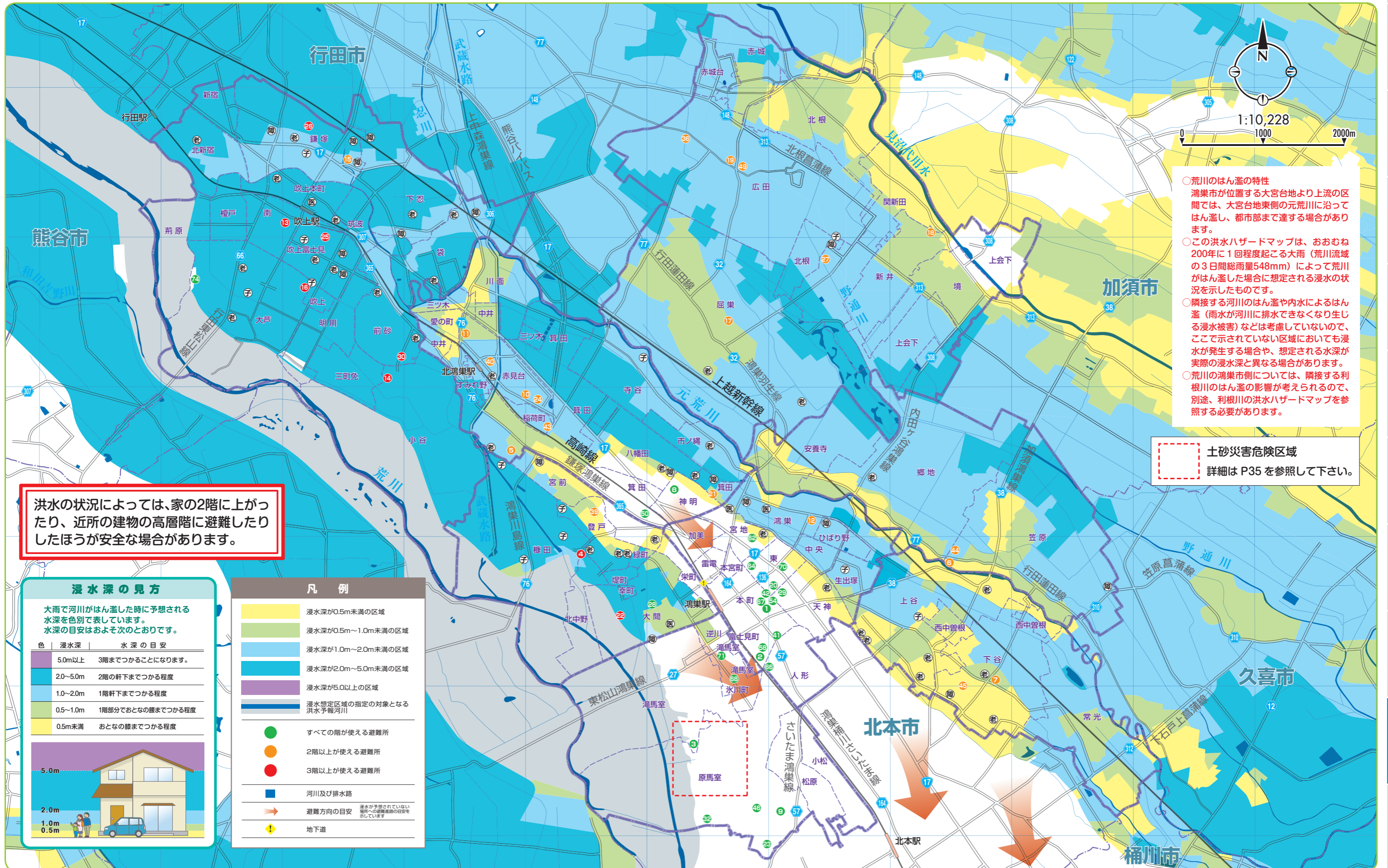


洪水ハザードマップ — 荒川



○荒川のはん濫の特性
 鴻巣市が位置する大宮台地より上流の区
 間では、大宮台地東側の元荒川に沿っ
 てはん濫し、都市部まで達する場合が
 あります。

○この洪水ハザードマップは、おおむね
 200年に1回程度起こる大雨（荒川流域
 の3日間総雨量548mm）によって荒川
 がはん濫した場合に想定される浸水の状
 況を示したものです。

○隣接する河川のはん濫や内水によるはん
 濫（雨水が河川に排水できなくなり生
 じる浸水被害）などは考慮していません
 ので、ここで示されていない区域にお
 いても浸水が発生する場合や、想定さ
 れる水深が実際の浸水深と異なる場
 合があります。

○荒川の鴻巣市側については、隣接する
 利根川のはん濫の影響が考えられるの
 で、別途、利根川の洪水ハザードマッ
 プを参照する必要があります。

土砂災害危険区域
 詳細は P35 を参照して下さい。

洪水の状況によっては、家の2階に上が
 ったり、近所の建物の高層階に避難した
 りしたほうが安全な場合があります。

浸水深の見方

大雨で河川がはん濫した時に予想される水深を色別で表しています。水深の目安はおよそ次のとおりです。

色	浸水深	水深の目安
紫	5.0m以上	3階までつかふこととなります。
青	2.0~5.0m	2階の軒下までつかふ程度
緑	1.0~2.0m	1階軒下までつかふ程度
黄	0.5~1.0m	1階部分でおとなの腰までつかふ程度
白	0.5m未満	おとなの膝までつかふ程度

凡例

黄	浸水深が0.5m未満の区域
青	浸水深が0.5m~1.0m未満の区域
緑	浸水深が1.0m~2.0m未満の区域
青	浸水深が2.0m~5.0m未満の区域
紫	浸水深が5.0以上の区域
青	浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
●	すべての階が使える避難所
●	2階以上が使える避難所
●	3階以上が使える避難所
■	河川及び排水路
→	避難方向の目安 <small>浸水が予想されない場所への避難経路の目安を示しています</small>
◆	地下道

1 鴻巣地区
 2 箕田赤見台地区
 3 田岡宮地区
 4 馬室地区
 5 笠原地区
 6 常光地区
 7 川里地区
 8 吹上地区
 地震ハザードマップ
 洪水ハザードマップ
 土砂災害ハザードマップ